



Microsoft Teams Rooms運用支援・保守サービス

VTV MTR Care

サービスメニューのご案内

VTV MTR Care

Microsoft Teams Rooms(MTR)を導入後も安心して運用して頂くためにMTR端末の保守対応だけに限らず、MTRアップデート情報の提供やMicrosoft側起因と想定される障害時でも弊社知見を踏まえアドバイスさせていただきます。



VTV MTR Careは 2つのサービスで構成されます。

MTR Core

運用アシストプラン

■ MTRアップデート情報の提供

Microsoftからリリースされる公開情報をいち早くキャッチし、内容を理解した上で機器のメンテナンスやユーザーへの事前周知を行うことは安定運用に必要不可欠です！お客様に代わり機能詳細と合わせて情報を提供します。

■ MTR障害時技術支援

MTR障害時、Microsoft側TeamsRoomsアプリ起因と想定される場合でも弊社知見を踏まえ障害解決に向け技術的アドバイスをさせていただきます。

Microsoft Teams Rooms Proライセンスとパッケージになった「VTV edition」も提供しています。

MTR xSP

MTR端末 メーカー毎の保守サービス

コールサポートはもちろんのこと製品交換、代替機サービスやオンサイト保守など機器不具合時の対応は弊社へお任せください。

Microsoft Teams Rooms(MTR)リリース公開情報を機能詳細と一緒にご提供

MTRに関するリリースはMicrosoftより都度公開されていますが、公開情報の内容や機能詳細を自社で確認することはリソース(手間や時間)の観点から難しい場合があります。これらの情報が整理されていない中で勝手にアップデートされてしまうと、ユーザーが混乱するなど運用に支障をきたすこともあります。そこで、弊社ではお客様に代わりリリース情報及び機能詳細についてまとめたドキュメントを随時提供いたします。

MTRアップデート情報の提供内容について

- ・ Microsoft側リリース直後に弊社Microsoft環境にて動作確認を行い機能と併せて利用方法を確認いたします。
- ・ リリース後、2週間以内に確認した内容を取りまとめドキュメントとして情報を提供いたします。
- ・ 情報の提供はWindows版及びAndroid版を合わせて年10～15回程度を想定しています。 ※2024年実績Windows版 5回/ Android版 7回

その他重要事項について

- ・ MTRソフトウェア自動アップデートをリリース後約3週間を超えた期日で設定されることを推奨します。
- ・ ご契約時にMTRアップデート情報提供先のご担当者及びメールアドレス情報をご提示頂きます。なお、提供された情報は自社内のみで使用するものとし関連会社を含む第三者(但し、Microsoftテナントが同一の場合を除く)への開示、提供を禁止します。
- ・ MTRアップデート情報に関するお問い合わせは、VTVジャパンサポートデスク専用電話またはメールでの受付となります。(対応時間:平日9:00～17:30)
- ・ MTRアップデート情報は、お客様環境依存問題やセキュリティ、認証、またはデバイス管理に関わる環境確認は含まれません。
- ・ MTRアップデート情報は、Microsoft社が公開する情報に基づくものとし、その内容はMicrosoft社のリリース情報に記載された範囲に限定されます。
- ・ MTRアップデート情報は、各ハードウェアメーカー、モデル単位でご案内するものではありません。

Microsoft Teams Rooms(MTR)障害時技術支援

MTR運用での障害発生時、端末(ハードウェア)起因の場合にはMTR xSPでの保守サービスにご加入頂くことで機器の交換や代替機の貸し出し等のサポートをお受けすることができますが、Microsoft側起因の場合には原則お客様側での対応となります。

そこで、弊社ではMicrosoft側TeamsRoomsアプリ(Teams、Exchange online)に関し自社知見を踏まえ障害解決に向け技術的アドバイスをさせていただきます。

障害時支援の内容について

- ・ 5ページ目にイメージ図と併せてご紹介いたします。

その他重要事項について

- ・ 障害時のお問い合わせについては、VTVジャパンサポートデスク専用電話またはメールでの受付となります。(対応時間:平日9:00～17:30)
- ・ 障害時切り分けにおいて、端末(ハードウェア)起因と想定されMTR xSP保守未加入の場合にはお客様対応となります。
- ・ 障害時支援において、お客様Microsoft365環境に対し直接的な設定変更等を行うものではありません。
- ・ 障害時支援において、問題の性質や複雑さによっては完全な解決に至らない場合があることを予めご了承ください。

目次



1. イントロダクション	p.3
2. 新機能及び更新プログラム内容について (2025年機能追加)	p.4
3. 詳細機能説明	
① プレゼンター(発表者)としてTeamsのイベントに参加できます Pro	p.5
② 複数のカメラビュー Pro	p.6
③ 録画の開始/停止 Pro	p.7
4. 新機能及び更新プログラム内容について	p.8
5. 詳細機能説明	
① デジタルサインージ Pro	p.9
② SIP参加を使用したクロスプラットフォーム会議の強化 Pro	p.10
③ 近接性ベースの結合エクスペリエンスの改善	p.11
④ ユーザー数に基づく動的なビデオタイトルのサイズ変更 Pro	p.12
⑤ Windows ルーム プレビューのMicrosoft Teams Roomsには、Cloud IntelliFrame が表示されます Pro	p.13
⑥ 近接結合による室内参加者の名簿グループ化	p.14
⑦ グループフレーム、アクティブスピーカー、エッジで構成された IntelliFrame のネイティブコントロール Pro	p.15
⑧ プレークアウトルームのサポート	p.16
6. バグフィックス	p.17
7. FAQ (よくある質問とその回答)	p.18
8. VTVサポートデスク情報 (お問い合わせ先)	p.19

3. 詳細機能説明 (2025年1月追加)



② 複数のカメラビュー Pro

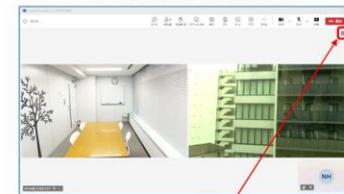
Microsoft Teams Rooms バージョン 5.2.115.0 では、複数のカメラビュー機能が追加されました。この機能によりWindows版のTeams Roomsは、リモートの会議参加者に表示される最大4台のシングルストリームカメラをサポートします。複数のカメラビューを使用するとリモートの会議参加者は、室内のすべてのアクションを追跡し、表示したい部屋のビュー(カメラ)を手動で切り替えることができます。

「複数のカメラビュー」の有効化

[設定] > [周辺機器] > [Multiple camera view] を有効にしてください



リモート側 (複数のカメラが表示されます)



このボタンでどのカメラを表示するか切り替えができます



注意！
この機能を有効にすると「Cloud IntelliFrame」機能は無効になります

3. 詳細機能説明 (2025年1月追加)



③ 録画の開始/停止 Pro

Microsoft Teams Rooms バージョン 5.2.115.0 では、Teams Roomsから録画の開始や停止ができる機能が追加されました。この機能によりユーザーは、コンパニオンデバイスで会議に参加しなくても、Windows版のTeams Roomsから直接録画を開始または停止できます。

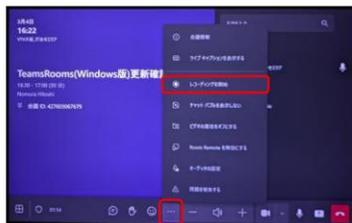
注意！

ユーザーがTeams Roomsの[今すぐ会議を開始]ボタンを使用して会議を作成すると、Teams Rooms自体が会議の開催者になり、既定では記録はTeams RoomsのOneDriveアカウント(Microsoft OneDrive for Businessライセンスが追加されている場合)に格納されます。ただし、会議のどの参加者もファイルに対する完全なアクセス許可を持っていません。会議の参加者に記録ファイルへの完全なアクセス許可を付与する場合は、Teams RoomのリソースアカウントにOneDriveライセンスを割り当ててください。(Microsoft Teams Rooms ProライセンスにはOneDriveは含まれていませんが、オプションで追加できます)

Teams RoomのリソースアカウントにOneDriveライセンスとストレージがない場合、記録は共同開催者(会議主催者)のOneDriveに保存されます。

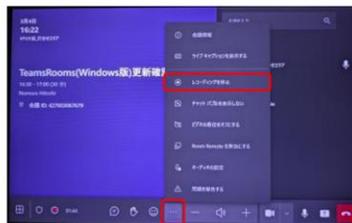
■ 録画の開始方法

「…」ボタンをタップし、「レコーディングを開始」をタップします



■ 録画の開始方法

「…」ボタンをタップし、「レコーディングを停止」をタップします



5. 詳細機能説明



⑤ Windows ルーム プレビューのMicrosoft Teams Roomsには、Cloud IntelliFrame が表示されます Pro

Microsoft Teams Rooms バージョン 5.2.115.0 では、Cloud IntelliFrameが有効な場合、Microsoft Teams RoomsのルームプレビューにCloud IntelliFrameの映像が表示されるようになりました。※これまでのバージョンではオンライン先の相手にどのような映像が送信されているか分かりませんでした。

この機能の詳細は以下の通りです。

Cloud IntelliFrameが無効



Cloud IntelliFrameが有効



Cloud IntelliFrameとは、オンライン会議の参加者が、会議室内の参加者のスマートビデオフィードを通して、Teams Roomsの参加者をより鮮明に見ることができる新しい機能です。このスマートビデオフィードは、会議室内の参加者の顔をズームインし、背景を排除することによってハイリッド会議のエクスペリエンスを向上させます。なお、Cloud IntelliFrameにはサポートされているカメラが必要です。



Cloud IntelliFrameが有効な場合、このアイコンが表示されます

お客様対応範囲



MTR Core

障害解決に向けて
アドバイスを実施



【注意事項】

- ・お客様Microsoft 365環境に対し直接的な設定変更等を行うものではありません。
- ・本サービスは、すべての問題の解決を保証するものではありません。また、解決に要する時間は問題の性質や複雑さによって異なる場合があります。

MTR xSP

- ・コールサポート
- ・製品交換
- ・代替機貸出
- ・オンサイト




MTR端末 メーカー毎の保守サービス

コールサポートはもちろんのこと、代替機サービスやオンサイト保守など機器不具合時の対応は弊社へお任せください。

Lenovo

Yealink

poly

hp

logicool

neat.

CISCO

DTEN

xSP1 | コールサポート + 製品交換

VTVサポートデスク コールサポート対応時間

平日9時00分～17時30分(年末年始休暇を除く)

操作説明やシステム不具合などを、電話またはメールにてVTVサポートデスクへお問い合わせいただけます。
VTVサポートデスクのスタッフが対応し、操作説明・不具合の切り分けを行います。
また、機器が故障した場合、製品の交換対応を行います。

xSP2 | コールサポート + 製品交換 + 代替機貸出

障害切り分け時にサポートデスクにて機器が故障と判断される場合、製品交換の間、代替機をお貸出いたします。
※機器の交換、取付、結線等現地作業はお客様側で実施して頂きます。

xSP3 | コールサポート + 製品交換 + 代替機貸出 + オンサイト

不具合と代替機の交換及び代替機と交換機の現地作業を弊社作業員が現地へオンサイトし対応いたします。
※オンサイトでの切り分け作業は本保守サービスに含まれません。

xSP4 | 大型ディスプレイ一体型製品限定

コールサポートの付帯はもちろん、大型ディスプレイ一体型向けに製品交換時のオンサイト対応を提供いたします。

メーカーによりサービス内容が異なる場合がございます。
詳細は担当営業へお問合せください。